

| 学年 | コース | 教科 | 科目 | 類型 | 必・選 | 単位数 |
|----|---------|----|----|----|-----|-----|
| 2 | Sフロンティア | 国語 | 古典 | 文系 | 必修 | 3 |

講座のねらい

古文：物語・日記・随筆など多くのジャンルの古文に触れ、作者や作品の文学史上の知識、古典常識の知識の修得に努めます。助詞と助動詞を中心に、丁寧な口語訳を行い、古文読解の向上と作品の理解に努めます。

漢文：故事、寓話、漢詩、歴史的な漢文を読み、中国の歴史の背景や作品の持つ意味を理解します。漢詩の分類（絶句・律詩）や漢詩の技法（対句や押韻等）の知識をつけます。やや長めの漢文を読み、そこに現れる主な句形や重要語（漢字）のはたらきを理解し、正確な漢文読解が出来るようにします。

使用教材及び問題集

古文の教材：『改訂版古典B（古文編）』（数研出版）
『新修 古典文法』（京都書房）『重要 古文単語 315 三訂版』（桐原書店）
古文のワーク・プリント類
漢文の教材：『改訂版古典B（漢文編）』（数研出版）
『漢文必携』（桐原書店）
漢文のワーク・プリント類
共通の教材：『新版三訂 カラー版新国語便覧』（第一学習社）

授業の内容と進め方

古文：予習として、単元の原文をノートに書き写します。助詞と助動詞を中心に品詞分解を行います。難語句の意味を調べ、口語訳を行いましょう。授業は品詞分解と口語訳を中心に、指名しながら本文の読解を行います。単元終了後に演習問題を利用して、文法の理解や読解力を身につけるようにします。

漢文：予習として、単元の原文（白文）をノートに書き写します。教科書の訓読文を参考に、書き下し文を書きます。重要語を辞書で調べ、口語訳を試みましょ。授業では、指名読みの後、書き下し文を参考に、白文に送り点送りかなを施します。また、重要語や句形を中心に口語訳を行います。単元終了後の演習問題により定着を図ります。

講座の到達目標

古典文法や語彙、古文常識、漢文の句形や語句の意味を定着させ、センター試験や国公立大学二次試験を意識した学習を行います。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査を中心に、小テスト、課題やノートの提出状況、授業態度や発言内容などを加味し、総合的に評価します。提出物については、期限を厳守することを求めます。

備考

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容・古文〉

- ・十訓抄（鎌倉時代の説話）「大江山」：助動詞と助詞の品詞分解と和歌の修辞を中心に文法の復習を行います。
- ・沙石集（鎌倉時代の説話）「兼盛と忠見」：宮中の行事に関する知識を身につけ、文法的説明に基づいた口語訳を作る練習を行います。
- ・徒然草（鎌倉時代の随筆）「あだし野の露」：助詞（のみ・ばかり・だに等の副助詞を中心に）や助動詞の働きを理解した上で口語訳を作成します。
- ・方丈記（鎌倉時代の随筆）「ゆく河の流れ」：文体の特徴（対句・和漢混淆文）を捉え、栄枯盛衰・盛者必衰の主題の理解に努めます。

〈教科書内容・漢文〉

- ・故事・寓話 「漱石枕流」「画竜点睛」「買履忘度」
：疑問・反語形、使役形、選択形の句形を学びます。再読文字や重要漢字の復習をしながら口語訳を行い、故事から作られた慣用表現について理解を深めます。

〈その他〉

単元ごとに演習プリントの実施。
課題（古文・漢文）

2 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容・古文〉

- ・伊勢物語（平安時代の歌物語）「通ひ路の関守」：在原業平と伊勢物語。
- ・枕草子（平安時代の随筆）「すさまじきもの」：清少納言の考えを読み取り、当時の人々の趣向と現在の感覚の相違を探ります。
- ・大鏡（鎌倉時代の歴史物語）「花山天皇の出家」：大鏡を始めとした歴史物語を知ると共に、藤原氏の家系について学びます。最高敬語や二方面への敬語についての理解を深めます。

〈教科書の内容・漢文〉

- ・絶句 「勸酒」「雨中登岳陽樓望君山」・律詩 「黃鶴樓」
：漢詩の分類を復習し、絶句と律詩の特徴（押韻・対句等）を押さえます。
- ・史記 「項門之会（劍舞）（頭髮上指す）」
：紀伝体の歴史書と司馬遷について知ります。登場人物（項羽と沛公）を把握し、歴史とも関連付けて内容の把握を行います。
使役形（使・令）や仮定形（不者・不然）を押さえます。

〈その他〉

単元ごとに演習プリントの実施
課題（古文・漢文）

3 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容・古文〉

- ・源氏物語（平安時代の物語）「光源氏誕生」：源氏物語についての文学史的知識をつけます。女性の位や男性の官位について学びます。「に」の識別や主語の確認をしながら口語訳を行い、内容の把握をします。
- ・更級日記（平安時代の日記）「東路の道の果て」「物語」
：副詞に注意しながら口語訳を行い、筆者の物語への憧憬を読み取ります。

〈教科書内容・漢文〉

- ・史記「四面楚歌」：四字熟語（故事成語）の成り立ちを学びます。七言古詩の詩型や詠嘆形（何～也）反語形（奈～何）の句形を押さえ、口語訳を行います。
- ・先哲の思想：諸子百家の思想について知識を整理するとともに、その内容についても理解します。

〈その他〉

単元ごとに演習プリントの実施
課題（古文・漢文）